

【広東省・広州市・深圳市週報】

4月18日～4月24日

1. 広東省

1. 省政府党組織会議の開催

●18日午前、朱小丹・省長主宰の上記会議が開催され、習近平・総書記の「両学一做」学習教育に関する重要な指示の精神を貫徹すべく、「中共広東省人民政府党組織議事政策決定規則制度（試行）」等について審議（4月19日付『南方日報』）。

2. 全省「インターネット+行政サービス」改革推進業務に関するテレビ電話会議の開催

●18日午後、袁宝成・副省長主宰の上記会議が開催され、朱小丹・省長が出席。徐少華・常務副省長がインターネット、クラウド・コンピューティング・ビッグデータ等の情報技術を利用した効率の良い統一的な行政サービスのプラットフォームの建設状況について報告（4月19日付『南方日報』）。

3. 朱小丹・省長がフィアット・クライスラー・オートモービルズCEO一行と会談

●18日午前、朱小丹・省長がセルジオ・マルキオンネCEO一行と会談し、広州工場（番禺区）の竣工を祝うと同時に、省自動車産業のさらなる発展に貢献してもらいたいと伝えた。任学鋒・広州市党書記も同席（4月19日付『南方日報』）。

4. 全省重点プロジェクト建設会議の開催

●19日午後、胡春華・省党書記主宰の上記会議が開催され、重点プロジェクトを「十三・五計画」期間の経済社会発展の突破口としていくよう強調。朱小丹・省長が具体的な業務について手配（4月20日付『南方日報』）。

5. 過剰生産能力の調整に関する全省動員大会の開催

●19日午前、徐少華・常務副省長主宰の上記大会が開催され、朱小丹・省長が出席。朱省長は国有“ゾンビ企業”の整理と再建を断行するよう強調（4月20日付『南方日報』）。

6. 省政府が中国人寿集団と戦略的提携の枠組み協定に署名

●19日午後、胡春華・省党書記が調印式に立ち会い、朱小丹・省長と楊明生・中国人寿集団董事長が上記枠組み協定に署名。広東省と同集団は今後、投融資、保険業、金融イノベーション等の分野で協力していく（4月20日付『南方日報』）。

7. 第28回省党委員会集中学習討論会の開催

●20日午前、胡春華・省党書記主宰の上記討論会が開催され、習近平・同志を総書記とする党中央が国を治め政治を司る上での新理念、新思想、新戦略の要点を正確に把握し、実状に即して政治意識、大局意識、核心意識、看齐意識を強化し、党中央と足並みをそろえるよう強調（4月21日付『南方日報』）。

8. 第1四半期経済動向分析会議の開催

●20日午後、胡春華・省党書記主宰の上記会議が開催され、信念を持って中央・省党委員会・省政府の経済発展に関する政策に取り組み、各プロジェクトを安定的に成長させながら、本年の目標や任務を達成するよう強調。朱小丹・省長、黄龍雲・省人代常務委員会主任、王榮・省政協主席も出席（4月21日付『南方日報』）。

●19日、広東省統計局が発表したデータによれば、Q1のGDP総額：約1.73兆元（前年同期比7.3%増）、貿易総額：約1.27兆元（同3.6%減）、物価指数：同2.6%増、1人あたり可処分所得：8,445元（名目値で同8.8%増）、小売総額：8,162億元（同9.8%増）、固定資産投資額：5,039億元（同12.1%増）、不動産開発投資額：約1,747億元（同12.8%増）、広東省からの財政収入：5,277億元（同14.4%増）（4月20日付『広州日報』）。

9. 全人代常務委員会法執行検査チームが広東省を視察

- 18日より沈躍躍・全人代常務委員会副委員長率いる検査チームが広東省を訪れ、広州市、仏山市、江門市等で新食品安全法（「中華人民共和国食品安全法」）の執行状況について視察（4月21日付『南方日報』）。
- 20日午前、胡春華・省党書記が沈躍躍・副委員長一行と会談し、広東省の食品の安全性に対する調査や指導を強化し、業務能力や水準を向上させるためのサポートを要望（4月21日付『南方日報』）。

10. 朱小丹・省長がスイス・チューリッヒ州議員兼経済部長一行と会談

- 20日晚、胡春華・省党書記の委託を受けた朱小丹・省長がスイス・チューリッヒ州議員兼経済部長一行と会談し、貿易・投資、金融、科学技術イノベーション、観光等の分野で協力を強化したいと伝えた（4月21日付『南方日報』）。

11. 広東自貿区建設の進捗状況報告会の開催

- 21日午前、胡春華・省党書記主宰の上記報告会が開催され、広東自貿区開設から1年の進捗状況について総括。胡書記は習近平・総書記の自貿区建設に関する重要な指示の精神をしっかりと貫徹し、さらに使命感と緊迫感を強めながら自貿区の建設を急ぐよう強調。朱小丹・省長、徐少華・副省長、任学鋒・広州市党書記、招玉芳・省政府党組織メンバー、許勤・深圳市長、丁紅都・南沙区党書記、蔡朝林・広州市副市長も出席（4月22日付『南方日報』、『広州日報』）。
 - 21日午後、広東省空港集団とUBMが南沙で調印し、2018年に広州市で国際航空ルート開拓フォーラムを開催することが決定（4月22日付『南方日報』）。
- ※UBM：国際展示会の主催を中心としたマーケティングとコミュニケーション・サービスを提供する国際メディア企業。本社は英国。

12. 第12回省人代常務委員会第76回主任会議の開催

- 21日午前、黄龍雲・省人代常務委员会主任主催の上記会議が開催され、副主任（張広寧、陳繼興、黄業斌、劉悦倫）、陳逸葵・秘書長等が出席。黄主任は全省各級人代で習近平・総書記の「两学一做」学習教育活動に関する重要な指示の精神をしっかりと学び、展開していくよう指示（4月22日付『南方日報』）。

13. 省党常務委員会議の開催

- 22日午前、胡春華・省党書記主宰の上記会議が開催され、習近平・総書記がサイバーセキュリティ及び情報化工作座談会で述べた重要講話の精神、指導者入れ替え時期における紀律教育の強化に関する中央組織部の重要な通知について伝達し、教育ビデオ（「鏡鑑」）を視聴（4月23日付『南方日報』）。
- ※「鏡鑑」：衡陽（湖南省）、南充（四川省）で発生した指導者入れ替え時期の紀律違反事例。

14. 改革の全面的な深化に関する指導グループ会議の開催

- 22日午後、胡春華・省党書記主宰の上記会議が開催され、改革の全面的な深化に関する中央指導グループ会議（第21回～23回）で習近平・総書記が述べた重要講話を貫徹するために、広東省の徴税管理、環境汚染時の幹部に対する責任追及、国有企業改革にあたって党の指導を堅持し、党建設を強化すること、紀律検査機関の常駐、司法関係者による事案関係者との接触のルール化等の改革案について審議し採択（4月23日付『南方日報』）。

15. 胡春華・省党書記がシスコ・システムズCEO一行と会談

- 22日午後、胡春華・省党書記がシスコ・システムズCEO一行と会談し、「インターネット・プラス」やスマートシティ建設等、広州市を国家的なイノベーションの中心都市にしていくためのサポートを要望。袁宝成・副省長も同席（4月23日付『南方日報』）。
- 22日、任学鋒・市党書記、温国輝・市長がシスコ・システムズCEO一行と会談し、戦略的枠組み協定に署名。広州にシスコ中国イノベーション・センター本部を設立（4月23日付『広州日報』）。

16. 朱小丹・省長がムスタファ・スレイマン氏と会談

● 22日晩、朱小丹・省長がグーグル・深智の共同創設者で人工知能の応用・開発責任者を務めるムスタファ・スレイマン氏と会談し、同社の人工知能の技術を医療・保健分野に応用していくために協力したいと伝えた（4月23日付『南方日報』）。

17. 朱小丹・省長が香港会計検査院一行と会談

● 22日昼、朱小丹・省長が孫德基・院長率いる香港会計検査院一行と会談し、法に則った行政に関して香港の経験に学びたいと伝えた（4月23日付『南方日報』）。

18. 反腐敗にかかる処分

● 22日、省紀律検査委員会が蘇偉波・仏山市三水区党書記を嚴重な紀律違反で調査中と発表（4月23日付『広州日報』）。

II. 広州市

1. 広州市の自動車産業動向

● 18日、広汽フィアット・クライスラー・オートモービルズの広州工場（番禺区）の竣工式が開催され、任学鋒・市党書記、張広寧・省人代常務委員会副主任、温国輝・市長が出席。セルジオ・マルキオンネCEOと会談した任書記は、広州市では現在「広州製造2015」戦略を展開中であり、自動車産業は支柱産業の1つなので、同社のブランド性、技術力、デザイン力等の強みを発揮し、広州市との協力を深めながら、消費者により多くの質の高い製品を提供してもらいたいと伝えた（4月19日付『広州日報』）。

● 18日、任学鋒・市党書記が鞍山鋼鉄広州汽車鋼有限公司の新工場の竣工式に出席し、唐復平・董事長一行と会談。張広寧・省人代常務委員会副主任、温国輝・市長、盧一先・番禺区党書記等も出席。同工場は番禺区に新設され、総投資額は14億元。同社では広汽、東風日産、一汽VW、BYD等に製品を納入（4月19日付『広州日報』）。

2. 全市・区・鎮の指導者入れ替え業務に関するテレビ電話会議の開催

● 19日、温国輝・市長主宰の上記会議が開催され、習近平・総書記の指導者入れ替え期の業務に関する重要講話の精神、中央・省党委員会の要求をしっかりと貫徹し、しっかりとした精神で良い幹部を選び、厳正な紀律でクリーンな政治を保つよう伝えた。陳建華・市人代常務委員会主任、蘇志佳・市政協主席も出席（4月20日付『広州日報』）。

3. 第1四半期経済動向分析会議の開催

● 20日午後、周亜偉・副市長主宰の上記会議が開催され、温国輝・市長が出席。Q1のGDP総額：4,118億元（前年同期比8%増）、一般公共予算収入：同9.3%増、商品輸出額：1,161億元（同14.4%増）、固定資産投資：同15%増、民間投資：同31.4%増、小売総額：同8.6%増。広州市のサービス業における付加価値額は2,813億元（同8.8%増）で、GDP総額に占める割合は68.3%に達した（4月21日付『広州日報』）。

4. 任学鋒・市党書記が徐金鵬・新華社広東支社長と会談

● 20日、任学鋒・市党書記が徐金鵬・新華社広東支社長と会談し、広州市は現在五大発展理念の貫徹、供給構造改革の推進、国際物流・航空・科学技術の三大ハブ建設等にとしっかりと取り組んでおり、同社の業務展開にも良好な土壌を提供していると述べた（4月21日付『広州日報』）。

5. 任学鋒・市党書記が珠江を船上視察

● 21日、任学鋒・市党書記が船で珠江（白鵝潭～魚珠埠頭）を視察し座談会を開催。広州市を国家の中心的城市にしていくために、珠江の両岸を最適化し経済ベルト・イノベーションベルト・環境に配慮した景観ベルトを形成することは、市党委員会及び市政府の重大戦略（「一江兩岸三帯」）となっており、視察を通して高基準の計画、高水準の都市設計、高品質の管理を実施していくよう指示（4月22日付『広州日報』）。

6. 市安全生産委員会による業務会議の開催

● 22日午前、上記会議が開催され、温国輝・市長が出席し、安全な生産活動に関する中央・省・市の重要な指示の精神を伝達。第1四半期の業務について総括。周亜偉・副市長が第2四半期の具体的な業務について手配（4月23日付『広州日報』）。

Ⅲ. 深圳市

1. 全国政協香港・マカオ・台湾委員会が深圳市を視察

● 14日～18日にかけて、上記委員会調査チームが深圳市の前海深圳・香港現代サービス協力区、大疆創新（ドローン製造）、柔宇科技（薄膜ディスプレイ）等を訪問し、中国大陸と香港・マカオの協力・発展状況について視察。徐友軍・市政協副主席が視察に同行（4月19日付『深圳特区報』）。

2. 深圳市と河北省保定市が戦略的提携に署名

● 19日午前、深圳市と河北省保定市による戦略的提携の署名式が行われ、趙克志・河北省党書記、張慶偉・河北省長、馬興瑞・市党書記、許勤・市長、賀禹・中広核集団董事長、聂瑞平・保定市党書記、馬誉峰・保定市長が署名式に出席。五大発展理念に従い、深圳経済特区の牽引力を十分に発揮し、北京・天津・河北地域と共同発展に取り組む（4月20日付『深圳特区報』）。

3. 国土資源部指導者一行が深圳市を視察

● 19日、曹衛星・国土資源部副部長一行が深圳市の土地計画データ監察プラットフォーム「天地網」を視察し、関連業務について聴取（4月20日付『深圳特区報』）。

4. 広東自貿区前海・蛇口エリア、前海協力区の開発・建設業務に関する指導グループ会議の開催

● 20日午後、馬興瑞・市党書記は鍵となる突破口を正確に探し出し、重点的かつ実務的に自貿区及び前海協力区の建設を推進し、対外開放のステージ・水準を向上させていくよう強調。許勤・市長、李建紅・招商局集団董事長も出席（4月21日付『深圳特区報』）。

5. 馬興瑞・市党書記が莫高義・南方新聞メディア集団党書記一行と会談

● 20日晚、馬興瑞・市党書記は一行に対し、習近平・総書記がニュース・世論工作座談会で述べた重要講話の精神を貫徹し、正確に世論動向を把握しながら、党委員会・政府の中心業務をしっかりと実施すると同時に、市民の気持ちを正確に反映させ、プラスのエネルギーを伝えていくよう要望（4月21日付『深圳特区報』）。

6. 馬興瑞・市党書記が楊岳・福州市党書記一行と会談

● 21日午前、馬興瑞・市党書記が深圳市を視察に訪れた楊岳・福州市党書記と会談し、深圳市は習近平・総書記の一連の重要講話の精神と深圳市の業務に関する重要な指示の精神に従い、現代国際イノベーション・シティの建設を急いでいると述べ、両地域が自貿区建設、自主創新、産業発展等の分野で協力し、「一帯一路」及び自貿区建設に共同で貢献していきたいと伝えた（4月22日付『深圳特区報』）。

7. 馬興瑞・市党書記がインドネシア・ライオン・エアグループ創始者、総裁一行と会談

● 21日午前、馬興瑞・市党書記はさらに多くの東南アジアへの国際線（直行便）の運行等、実務レベルでの協力を展開し、「一帯一路」沿線諸国と空の連結を促進し、同市の現代国際イノベーション・シティ建設を急ぎたいと伝えた（4月22日付『深圳特区報』）。

※ライオン・エアグループ：インドネシアの格安航空会社。

8. 許勤・市長が龍崗区を視察

● 21日午後、許勤・市長が龍崗区に赴き、安全な生産の業務状況について視察。許市長は安全性を第一に考え、市民の生命や財産の安全を保障し、都市を安全に運営していくよう強調（4月22日付『深圳特区報』）。

9. 経済指標

● 21日、市統計局が発表したデータによれば、Q1のGDP総額：約3,888億元（前年同期比8.4%増）、一定規模以上付加価値額：1,479億元（同7.6%増）、ハイテク製造業の付加価値額：995億元（同11.9%増）、GDP総額に占める第2次産業の割合：約40%、第3次産業の割合：約60%、固定資産投資額：568億元（同23.8%増）、小売総額：約1,194億元（同8.8%増）、貿易総額：5,384億元（同6.5%減）、物価指数：同3%増（4月22日付『深圳特区報』）。

10. 馬興瑞・市党書記が企業の輸出入の状況について聴取

● 22日午後、馬興瑞・市党書記がデジタル・テレビや3G移動端末等の製造企業を視察し、輸出入の状況について聴取。馬書記は大局的かつ戦略的な観点から貿易業務の重要性を十分に認識する必要がある、いかに難局を乗り越えるかについて考え、企業の国際的競争力を向上させるために全力でサポートすると強調（4月23日付『深圳特区報』）。

1.1. 全人代常務委員会法執行検査チームが深圳市を視察

● 21日～22日、沈躍躍・全人代常務委員会副委員長率いる検査チームが深圳市を訪れ、食品安全法の執行状況について視察し座談会を開催。馬興瑞・市党書記、周天鴻・省人代常務委員会副主任、許勤・市長、丘海・市人代常務委員会主任も同行。新食品安全法は予防に力点が置かれ、リスク予防や全プロセスの監督管理が体现されており、厳格な法的責任が強化される。と同時に、社会と共同で管理していくという基本的な考え方が採られており、「新しく」・「厳しい」という2つの特徴がある（4月23日付『深圳特区報』）。

1.2. 市政府常務会議の開催

● 22日午後、許勤・市長主宰の上記会議が開催され、馬興瑞・市党書記の安全な生産に関する業務への要求を伝達。12・20地滑り事故を教訓に、安全な生産業務に努め、市民の生命と財産、都市の安全な発展を保証するよう強調（4月23日付『深圳特区報』）。

1.3. 深圳検査検疫局と招商局集団が備忘録に署名

● 22日午後、馬興瑞・市党書記、許勤・市長、李建紅・招商局集団董事長、趙振栓・深圳検査検疫局局长立ち会いの下、深圳検査検疫局と招商局集団が「ニューノーマル時代における検査検疫局と企業による相互利益モデルの共同構築に関する備忘録」に署名し、世界的な港湾環境の建設に向けて、より深く効率の良い協力メカニズムを構築し、対外開放の新局面を切り開いていくこととなった（4月23日付『深圳特区報』）。

1.4. 深圳市人力資源・社会保障局とテンセントが戦略的提携の枠組み協定に署名

● 22日午後、許勤・市長、艾学峰・副市长、馬化騰・騰訊公司（テンセント）CEO立ち会いの下、今後、就職促進、医療費支払い等の面で協力していくことになった深圳市人力資源・社会保障局と、「微信」（中国のSNSの1つ）等を展開中のテンセントが戦略的提携の枠組み協定に署名（4月23日付『深圳特区報』）。

1.5. 光明新区常駐チーム報告会の開催

● 23日午後、馬興瑞・市党書記主宰の上記報告会が開催され、市党委員会、市政府が光明新区に派遣している各チームによる状況報告について聴取。馬書記は中央・省の要求に従い「両学一做」をしっかりと実施し、同新区の問題を解剖し、深圳市全体の末端管理に手本を提供していくよう強調。許勤・市長、李華楠・政法委員会書記等も出席（4月24日付『深圳特区報』）。